

令和4年（1～12月）における火災の状況（確定値）

令和4年中の火災の状況について、1月から12月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

前年と比較すると、総出火件数、火災による死者数ともに増加しています。

① 総出火件数は36,314件、前年より1,092件の増加

総出火件数は、36,314件で、前年より1,092件(3.1%)増加しています。火災種別では、建物火災が618件増加、林野火災が12件増加、車両火災が103件減少、船舶火災が15件増加、航空機火災が2件増加、その他火災が548件増加しています。

② 総死者数は1,452人、前年より35人の増加

火災による総死者数は、1,452人で、前年より35人(2.5%)増加しています。負傷者数は、5,750人で、前年より317人(5.8%)増加しています。

③ 住宅火災による死者（放火自殺者等[※]を除く。）数は972人、前年より6人の増加

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は972人で、前年より6人(0.6%)増加しています。このうち65歳以上の高齢者は731人で、前年より15人(2.1%)増加し、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の75.2%を占めています。

（※ 放火自殺（心中を含む。）者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者。以下同じ。）

④ 出火原因として最も多いのは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数36,314件の出火原因別の内訳は、件数の多い順に、「たばこ」3,209件(8.8%)、「たき火」3,105件(8.6%)、「こんろ」2,771件(7.6%)、「放火」2,242件(6.2%)、「電気機器」1,960件(5.4%)となっています。また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると3,710件(10.2%)となっています。

詳細は消防庁ホームページをご覧ください。(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/>)



【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室 金子、田中、工藤

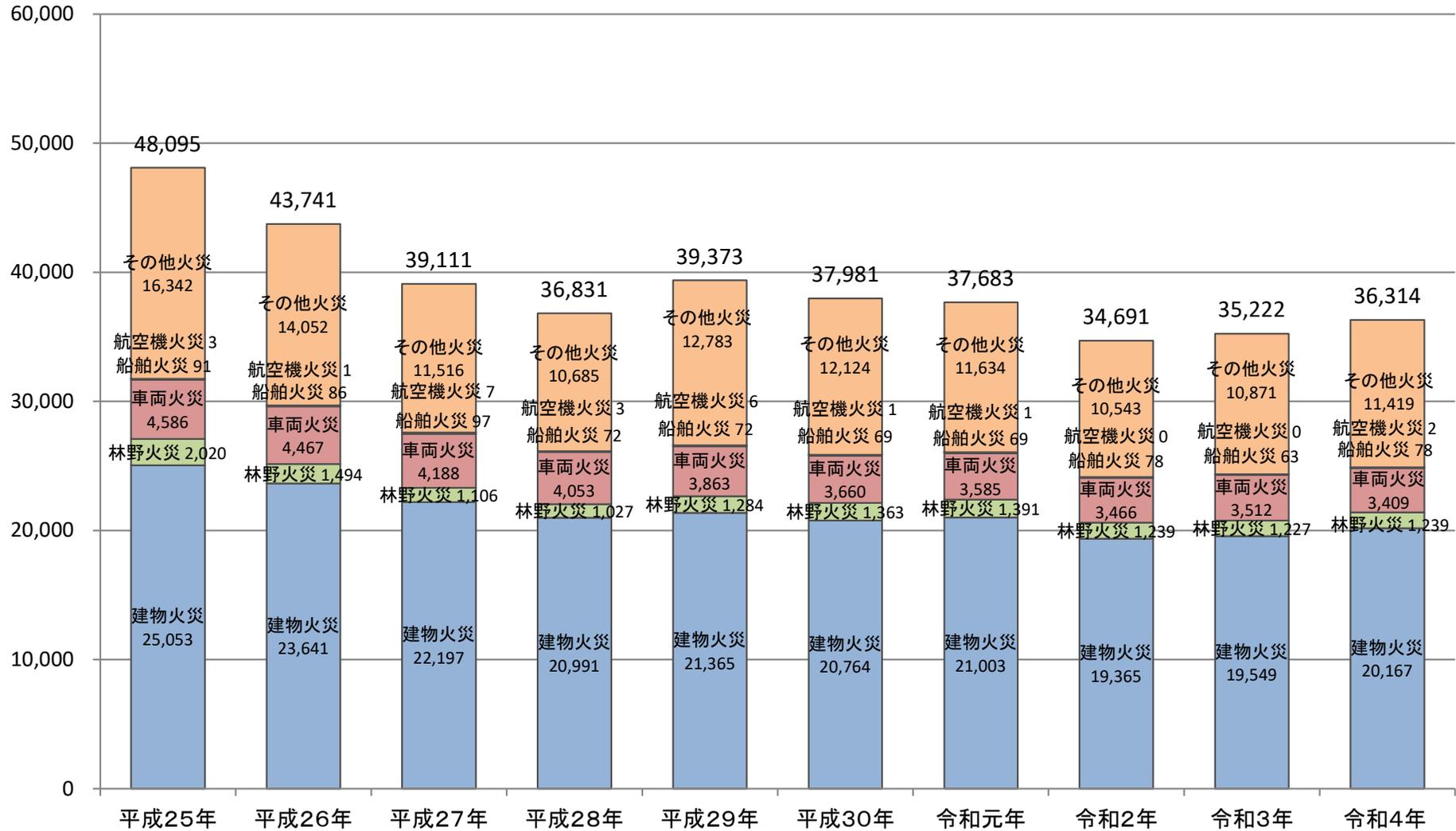
（代表）TEL：03-5253-5111

（直通）TEL：03-5253-7526

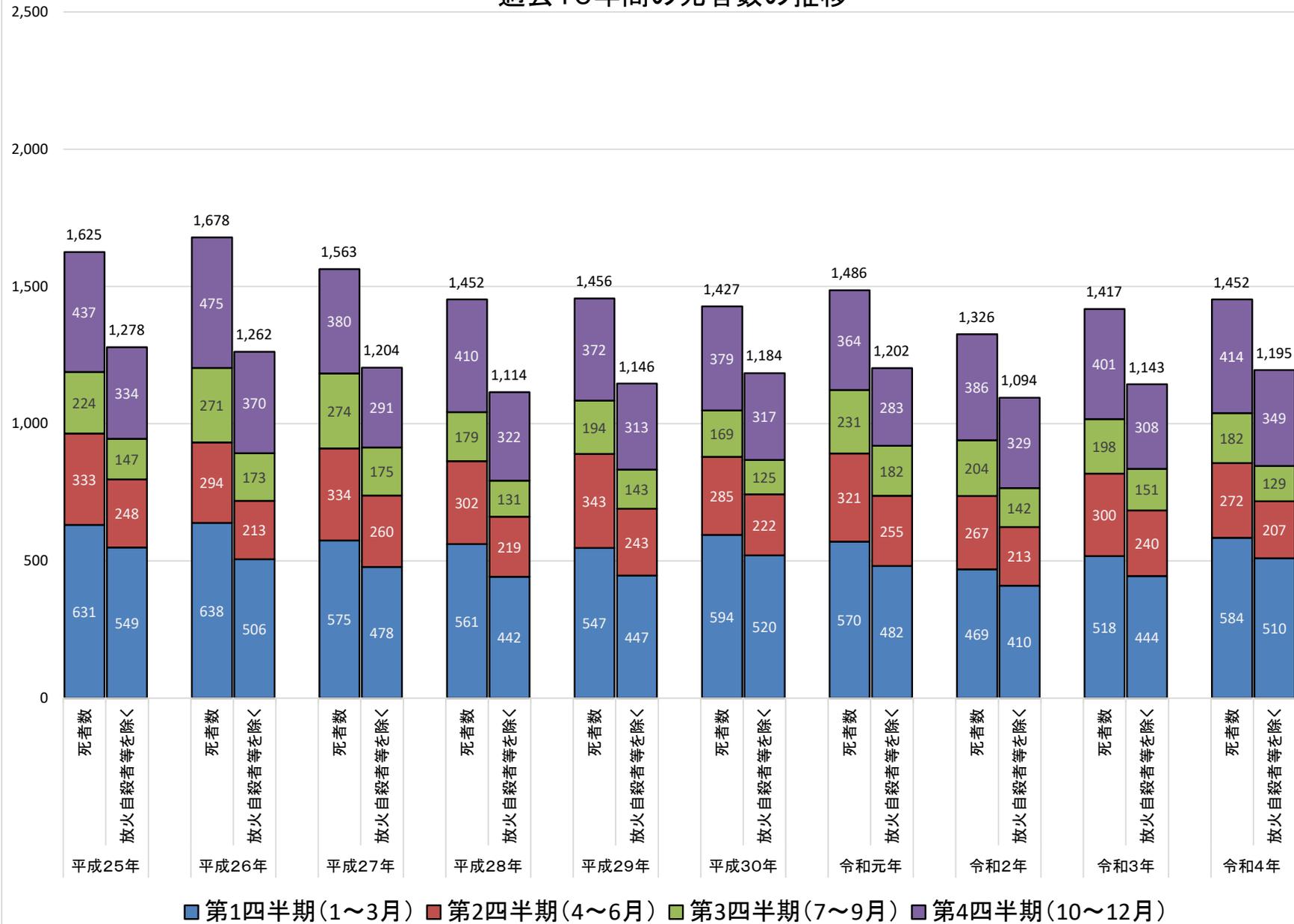
E-mail：bgm-boujo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

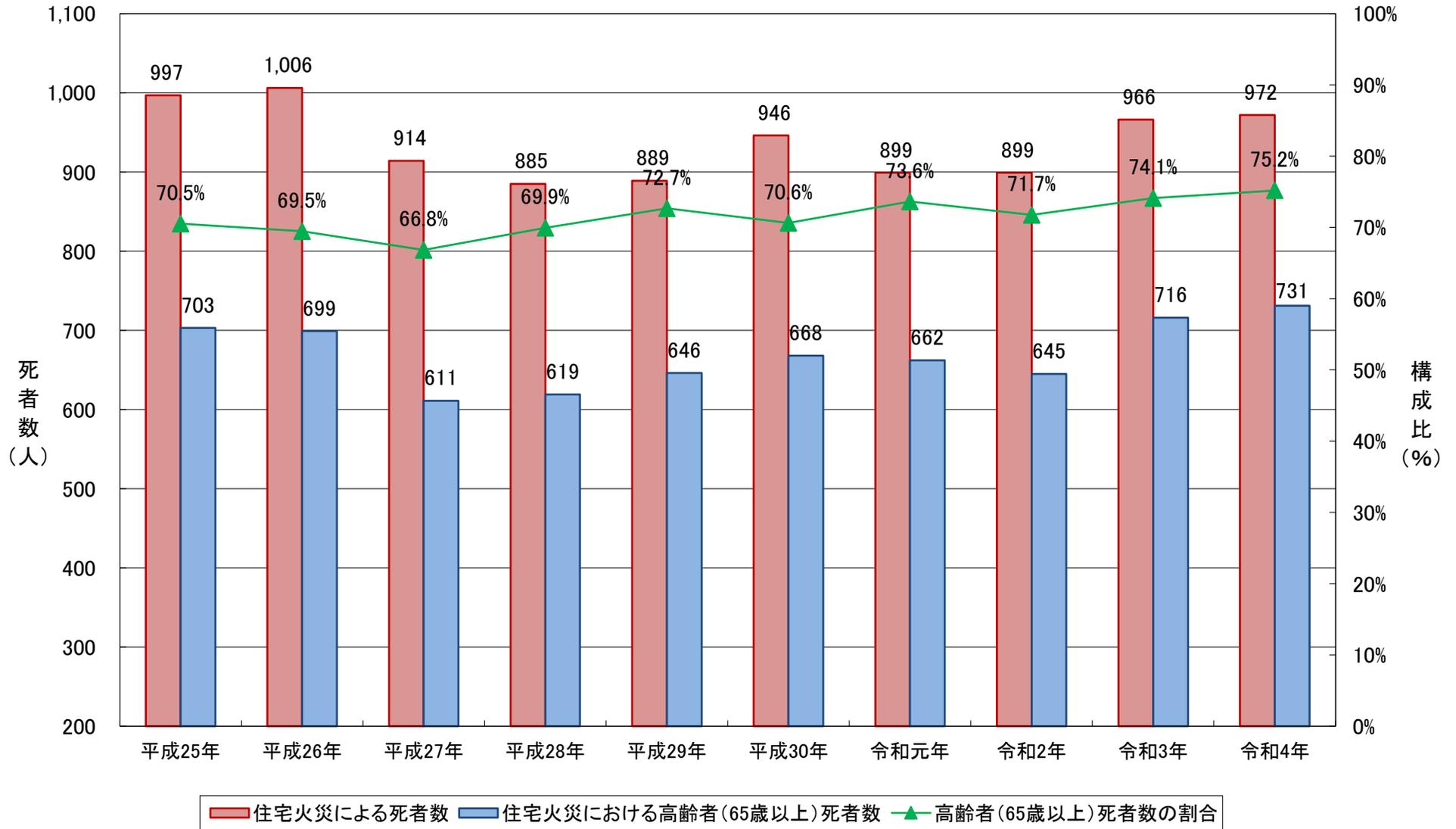
過去10年間の火災件数の推移



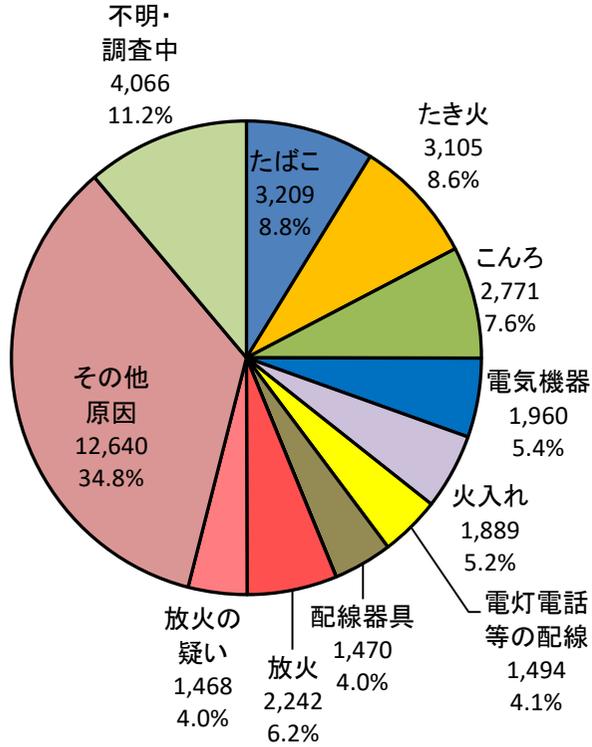
過去10年間の死者数の推移



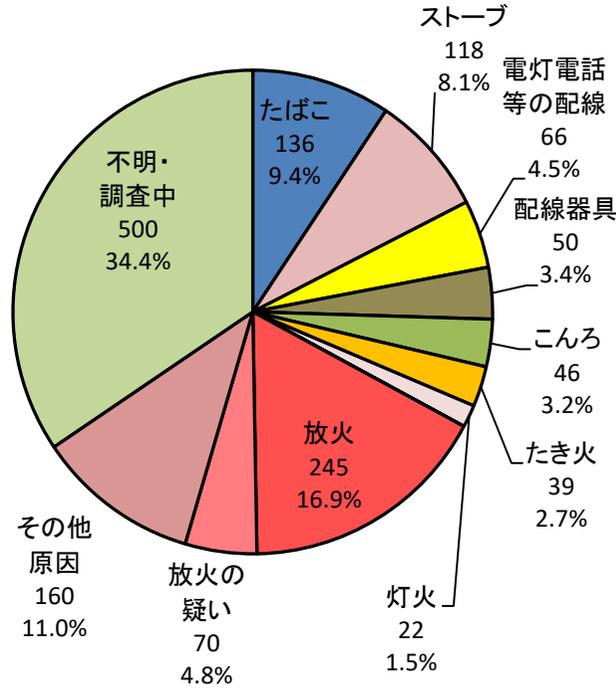
過去10年間の住宅火災における死者(放火自殺者等を除く。)数の推移



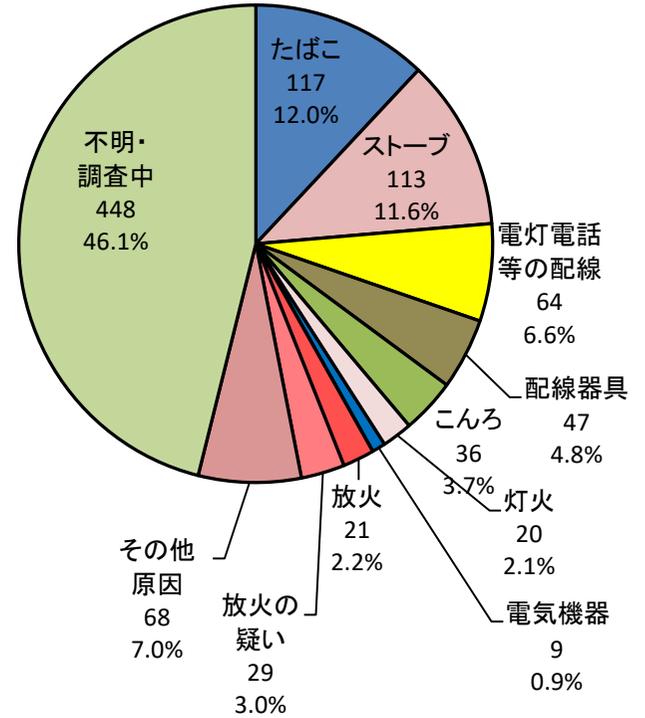
全火災36,314 件の
出火原因別件数の内訳



総死者1,452 人の
出火原因別死者数の内訳



住宅火災における死者
(放火自殺者等を除く。)972 人の
出火原因別死者数の内訳



令和4年(1~12月)における火災の状況(確定値)